

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室
				担当職員 阿久根由美子
日 時	平成26年5月23日(金曜日)		開 議	午後 2 時 30 分
			閉 議	午後 3 時 54 分
出席委員	菱田 ○山本(広報部会長) ○眞継(広聴部会長) 苗村 福井 中村 小島 中澤 (堤議員欠席)			
事務局出席者	藤村局長、山内次長、阿久根副課長、坂田主任			
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員 名()

会 議 の 概 要

14:30

〔菱田委員長開議〕

1 活動報告

(1) 広報部会

<山本副委員長>

7月31日発行161号の議会だよりは広報部会で編集を行う。特集ページの掲載内容を検討する。提案があれば連絡願う。前号から印刷業者が変更された。感想は。

<事務局長>

元市長から良いものができているとの感想を聞いている。

<福井委員>

字が大きくなり読みやすくなった。前号の表紙写真については市民意見があった。

<山本副委員長>

前号はPRの意味からも秘書広報課から写真を提供してもらい掲載した。今後検討したい。

<中澤委員>

議会報告会で「費用をかけ過ぎ、もっとシンプルに」という意見があった。

<山本副委員長>

先日視察に来られた玉名市議会は「亀岡市の議会だよりは安い」と言っておられた。

<中澤委員>

市民は高くかかっていると感じている。

<山本副委員長>

市民の声が多いようなら考えなければならないが、今の方法で最大限よいものを作れるよう努めたい。

<苗村委員>

京都府の広報研修を受けた際、市民の声を聴くように言われた。市民の意見も聴き、様々な角度で検討し、安ければよいのではなくしっかりしたものを作っていきたい。他市との費用比較をすればよい。

<山本副委員長>

調査は必要だと思う。市民に見やすいものを目指したい。

(2) 広聴部会

〔 眞継副委員長 説明 〕

< 中村委員 >

趣旨は理解できる。時間設定はどうするのか。各ブロック広域なので地域課題がまとまるのか。会場の設定も難しい。

< 眞継副委員長 >

ブロックで時間設定も含めブロックなりの運営を考えてもらいたい。地域の方と話す機会になるよう生かしてもらいたい。

< 中澤委員 >

政策研究の経験があればよいが、改選間近で出来るのか懸念する。常任委員会でやればよい。

< 眞継副委員長 >

1 常任委員会が全市域を持つのは難しい。今までの意見交換での意見の多くは地域課題だと思う。これが駄目なら地域課題を検討することができない。広いブロックで課題がまとまらないのかどうかは会議をしていないので分からない。一度検討してもらえないかと思う。

< 中澤委員 >

例えば人口問題なら地域ごとに意見も違うので実施できると思う。この時期に落ちていて出来るのか。市全体の関心事をテーマに意見をもらったらよいのではないか。

< 苗村委員 >

今までの意見交換で地域要望を聞いてきた。共通のテーマでも地域ごとに課題は違うので、テーマを決めておいて意見を聞けばよい。地域ではなく年代別、年齢別など常任委員会でやればよい。案のやり方は厳しい。

< 眞継副委員長 >

政策研究会で事前に地元意見の情報を集め準備してわがまちトークで意見を聴くことは無駄ではない。来期につなげることも整理できるので、やる値打ちはある。

< 山本副委員長 >

意見を聴いて来期に送るのはどうかと思う。

< 福井委員 >

今までの議会報告会の課題は参加者数、地元要望の聴取、一方的な議会報告、地元議員が必ずしも出席していないことである。今回は議会としての挑戦である。政策研究会で月 1 回集まりデータを蓄積し次期につなげるようにするもの。今までの取り組みを残すため 11 月にやる。

< 苗村委員 >

理解はする。具体的であればより分かりやすい。1 ブロック 9 自治会のところもあり地域課題がまとまるのか懸念する。

< 中村委員 >

政策研究会で開催会場数も決めることにすればどうか。

< 眞継副委員長 >

政策研究会に一任しても日程、所属委員会のバランス等開催スタイルは検討しなければならない。究極は 23 の全自治会での開催となる。テーマ別意見交換にすれば参加者が限られる。地元の地域で意見を聴くことを一度やってみてはどうか。

< 中澤委員 >

理想の姿だとは思いますが、やるのは無理だと思う。市全体の共通課題でやればよい。地域課題は市長こん談会をやっているので屋上屋を重ねるようなものである。

< 眞継副委員長 >

いったん部会に持ち帰り検討するが、報告会の実施を確認しておきたい。

< 菱田委員長 >

屋上屋を重ねてもやるべき課題はある。議会基本条例も議会報告会も議会をアピールするためにやってきた。地域課題を議員個人ではなく議会が取り組むことで一石は投じられるものと思う。

< 中澤委員 >

やるべき姿ではあるが、任期満了までの半年間では無理がある。人口問題、少子化は共通課題でありテーマにすればよい。

< 菱田委員長 >

地域に入りテーマを考え、まとめ、意見交換する案である。手法は了承なのか。

< 中澤委員 >

手法はよい。現実は一からやる時間がない。

< 福井委員 >

いつまでも自治会に頼る報告会ではいけない。地元議員が動員できる環境を整える挑戦をしなければならない。

< 苗村委員 >

23 自治会を 4 ブロックに分けることに無理があり地域課題はまとめられない。テーマを共通にしてブロック別に意見交換をすればよい。共通の課題をそれぞれのブロックで意見交換し、まとめ、政策提言などにつなげればよい。

< 眞継副委員長 >

共通課題をテーマにする意見も参考に部会で検討する。報告会は実施でよいのか。

< 福井委員 >

やらないといけない。

< 眞継副委員長 >

実施を確認しておかないと検討する意味がない。

— 全員実施に —

< 菱田委員長 >

今日のように議員間で自由に議論出来たことはよいことだと思う。

2 フェイスブックについて

< 菱田委員長 >

眞継副委員長とフェイスブックを書き込んでいる。視察受入の記事はガイドラインから少しはみ出しているかもしれない。感想、意見を聞きたい。

< 小島委員 >

視察受入の掲載はよいと思う。委員会視察の報告も載せればよい。

< 苗村委員 >

視察報告もよい。市民目線を考え掲載するべき。

< 福井委員 >

委員会の開催、視察報告も載せればよい。議長の公務も載せればよい。委員会室、本会議場も載せるべき。

< 山本副委員長 >

委員会情報含め積極的に掲載していけばよい。

< 中村委員 >

何ら問題は見当たらない。委員会等開催状況は積極的に発信していけばよい。

< 中澤委員 >

フェイスブックを見たことがない。

< 眞継副委員長 >

安全重視でやってきた。少し手を広げたい。

< 中澤委員 >

閲覧者の反応は。

< 菱田委員長 >

議場の写真を見た人からの 1 件だけである。

< 事務局長 >

安全運転だと思う。議会活動が伝わっている。

< 事務局次長 >

安全運転で幅を広げていければよいと思う。

< 事務局副課長 >

掲載できる内容はまだまだ可能性がある。検討いただければと思う。

< 事務局主任 >

スピーディに掲載されている。

< 菱田委員長 >

掲載内容の幅を広げる意見であった。他の委員も掲載願う。多い時で 850 人超がフェイスブックを見ている。閲覧者を増やす工夫も必要である。

< 中澤委員 >

見た人からの反応を受け止めることがねらいなのか。

< 菱田委員長 >

情報発信がねらいである。委員も掲載願う。

3 その他

〔なし〕

〔菱田委員長 閉議〕

15 : 54